

新潟大学医歯学総合病院

NIIGATA UNIVERSITY MEDICAL&DENTAL HOSPITAL

看護部のご案内

2025

共に考え、
学び成長
する場に



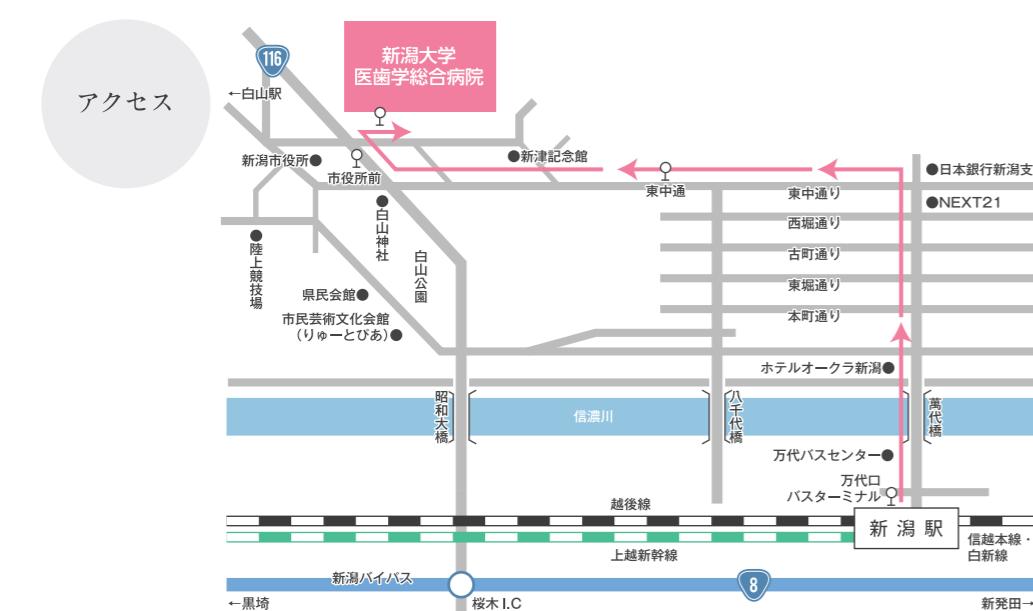
新潟大学医歯学総合病院

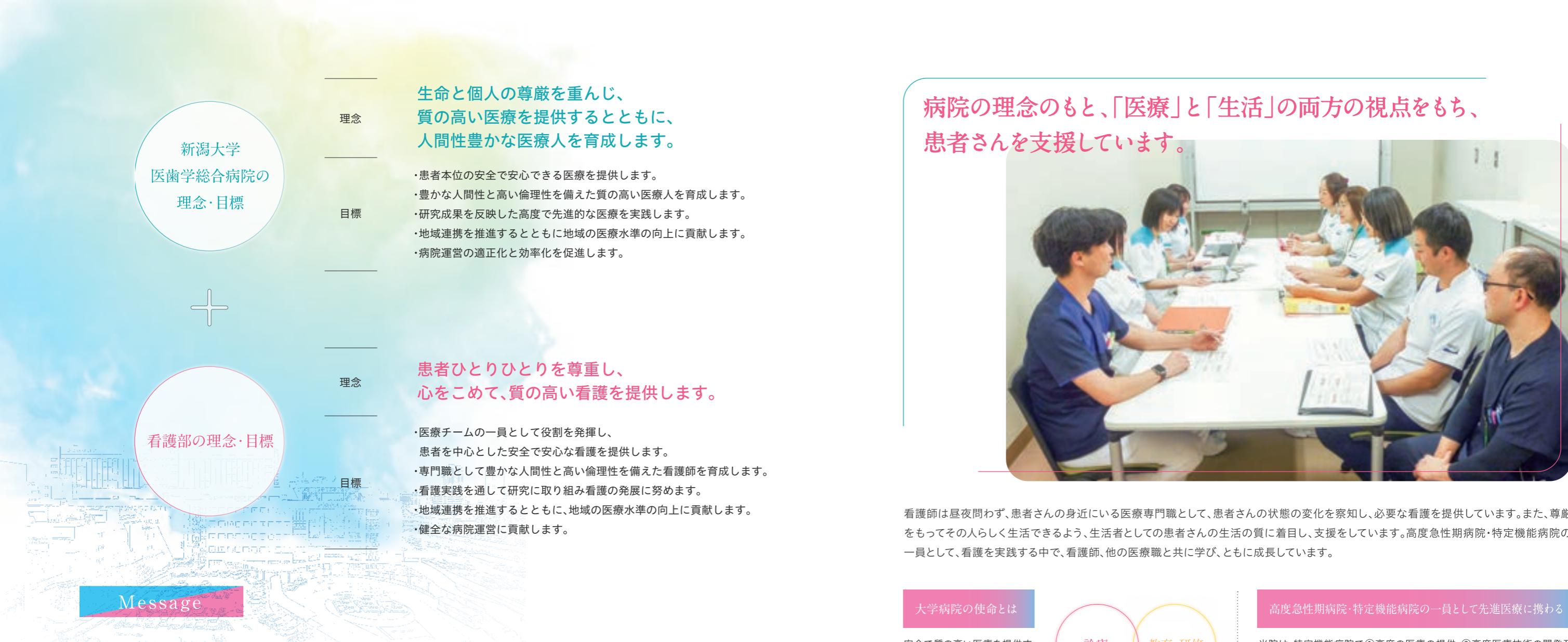
〒951-8520 新潟市中央区旭町通1番町754番地
問い合わせ:看護部事務室 TEL 025(227)2515(直通)
FAX 025(227)0724

看護部ホームページアドレス
<https://www.med.niigata-u.ac.jp/nrs/welcome.html>



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。





Message



病院長 富田 善彦

私は一患者として短期間ですが入院したことがあります。その当時にはある程度医学知識もあったことから、「まあ、大丈夫だろう」とは思っていましたが、夜間、痛みが強くなったときには、限りなく不安になりました。ためらいながらナースコールを押すと、すぐに看護師さんが来てくれて、やさしく状態を聞き取り、手際よく鎮痛剤の投与をしてくれました。本当に安心しましたし、心強くも思いました。患者さんにとって、最も身近な「頼みの綱」は看護師さんなのですね。30年以上たっても覚えています。本当に忘れられませんね。

我々の病院は最新の医療環境を備える特定機能病院で、数々のスキル、資格を取得できるトレーニングコース、キャリアパスを用意しておりますが、それ以上に大切な「心のこもった、やさしい医療」を行える広い意味でのメディカルスタッフ(医療人)を育てることを大きな目的としています。どうでしょう、私たちと一緒に仕事をしてみませんか?

当院は、高度先進医療の提供と人間性豊かな医療人を育成し、地域・社会への貢献を目指しています。「患者様ひとりひとりを尊重し、心をこめて、質の高い看護を提供します。」を看護部の理念とし、患者さん、ご家族に寄り添い、確かな実践力と豊かな人間性を備えた看護の提供に取り組んでいます。そして何より、患者さん、ご家族の人生観・思いを尊重し、その人らしさを守ることを大切にしています。

看護部では人間性豊かな看護師の育成を目指し、看護職キャリア開発システム RICCA(六花)を構築してきました。看護職員それぞれが将来の看護師像を描き、いきいきと主体的に看護実践能力の向上を図ることを支援するシステムです。キャリアプランに合わせた教育プログラムや看護提供体制を整え、「ともに学び・ともに育ちあう」ことを大切に、自律した看護師の育成につなげています。

新潟大学医歯学総合病院では魅力ある職場づくりを推進しています。自らが描く看護師像を実現するため、新潟大学医歯学総合病院の医療チームの一員としてともに成長ていきましょう。



看護部長 白砂 由美子

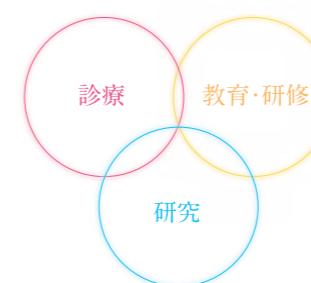
病院の理念のもと、「医療」と「生活」の両方の視点をもち、患者さんを支援しています。



看護師は昼夜問わず、患者さんの身近にいる医療専門職として、患者さんの状態の変化を察知し、必要な看護を提供しています。また、尊厳をもってその人らしく生活できるよう、生活者としての患者さんの生活の質に着目し、支援をしています。高度急性期病院・特定機能病院の一員として、看護を実践する中で、看護師、他の医療職と共に学び、ともに成長しています。

大学病院の使命とは

安全で質の高い医療を提供するため、医療人育成のための教育機関、新しい医療技術の研究・開発を行う研究機関、高度の医療を提供する地域の中核的医療機関として、重要な役割を果たしています。



高度急性期病院・特定機能病院の一員として先進医療に携わる

当院は、特定機能病院で①高度の医療の提供、②高度医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力等を備えた病院、③高度な先進医療を提供する病院です。また、ICU、高次救命災害治療センターを有する高度急性期病院もあります。私たち看護師は、高度急性期病院、先進医療に携わる特定機能病院の一員として、急性期だけでなく、慢性期、終末期など様々な段階の患者さんへの医療に携わっています。その人らしく生活できるよう、入院中だけでなく、退院後の生活を見据えた看護を実践しています。

ジェネラリスト、スペシャリスト、看護管理者、看護職員それぞれの看護師像、キャリア発達を進める

総合病院であることを活かし、ローテーションを行いながら、広い知識、技術を習得します。その中で、高度なジェネラリスト、特定看護師、認定看護師、専門看護師など看護職員それぞれが描くビジョンを達成できる仕組みがあります。看護部では、個々の看護職員のビジョンを尊重し、キャリア発達を支援します。

大学病院で医療チームの一員として 先進医療にかかわり、成長する

当院は、地域災害拠点病院、エイズ治療拠点病院、難病医療拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院、新潟県ドクターへリ基地病院など、地域に根ざした医療を提供しています。医師、歯科医師、薬剤師、療法士、管理栄養士、ソーシャルワーカーなど多職種と協働し、新潟大学医歯学総合病院ならではの医療を提供する中で、看護師という専門職としての役割を発揮し、経験し、成長していくことを目指しています。

新潟大学医歯学総合病院のパートナー制

パートナー制とはパートナーとなった看護師が相手の立場を尊重かつ対等なパートナーとして協働し、相互に補完し合いながら看護を実践し、その成果と責任を共有する看護体制です。この看護体制で患者様に安全、安心で質の高い看護を提供するとともに、パートナー同士がお互いを信じ思いやり、相互研鑽で、看護実践能力の向上を目指します。また、労働環境の改善、ワークライフ・バランス(WLB)の向上を進めています。



Category 1**チーム医療**

職種を超えたつながり

医師・歯科医師のほかに次のような職種と協働しています。



各病棟に担当薬剤師が配置され、薬歴管理、副作用チェックなどを行なっています。服薬指導では情報を共有しながら、その患者にあわせた段階的な指導をしています。



患者の症状に応じた食事について相談をしています。行事ごとの食事、誕生日の祝膳の他、病棟バーベキューなど楽しい企画もあり、協力しながら実施しています。



MSWや医療相談員、事務担当者と協働し、入院前から退院後までのシームレスな支援と総合的な入退院支援を行なっています。



心電図計やシリンジポンプ、人工呼吸器などの医療機器の安全整備がセンター化されMEが管理しているので、安心してベッドサイドで使用することができます。



医師、PT、OT、ST、MSW等、他職種でカンファレンスを実施し、退院後の生活の質を第一に考えたりハビリテーションを協働で行なっています。



心電図計やシリンジポンプ、人工呼吸器などの医療機器の安全整備がセンター化されMEが管理しているので、安心してベッドサイドで使用することができます。



各病棟に担当薬剤師が配置され、薬歴管理、副作用チェックなどを行なっています。服薬指導では情報を共有しながら、その患者にあわせた段階的な指導をしています。



患者の症状に応じた食事について相談をしています。行事ごとの食事、誕生日の祝膳の他、病棟バーベキューなど楽しい企画もあり、協力しながら実施しています。



MSWや医療相談員、事務担当者と協働し、入院前から退院後までのシームレスな支援と総合的な入退院支援を行なっています。



医師、PT、OT、ST、MSW等、他職種でカンファレンスを実施し、退院後の生活の質を第一に考えたりハビリテーションを協働で行なっています。



心電図計やシリンジポンプ、人工呼吸器などの医療機器の安全整備がセンター化されMEが管理しているので、安心してベッドサイドで使用することができます。

**Category 1****チーム医療**

様々な領域に広がる活躍

**特定認定看護師
(呼吸器疾患看護認定看護師)**



**医師や病棟看護師と連携し
QOL改善に向けた看護を**

呼吸器疾患看護特定認定看護師として実践を始め、医師の協力を得ながら気管カニューレの交換を行なっています。臨床推論を基に適切なタイミングで患者の状態にあった安全な専門性の高い連続した医療を提供できるよう、また、医師や病棟看護師と協働し患者のQOL改善に向けた看護実践ができるよう日々頑張っています。

**他にもこのような
専門看護師・認定看護師がいます。**

特定看護師



**専門的な知識をもとに
タイムリーなケアを提供**

外科病棟で勤務しながら、特定看護師として活動しています。直接動脈穿刺法による採血を中心に行い、患者にタイムリーなケアを提供できることにとてもやりがいを感じています。今後は医師と協力して活動の場・実践する行為区分を増やし、患者により良いケアを提供できるよう努力していくことを思っています。

**特定認定看護師
(クリティカルケア認定看護師)**



**チーム医療のキーパーソンとして
患者中心の医療を推進**

ICUでクリティカルケア認定看護師として、特定行為実践に取り組んでいます。患者の意向に沿った医療の実現にむけ、特定行為を用いて患者と向き合うことで、看護の奥深さやその広がりを実感しています。チーム医療のキーパーソンとして、様々な人々との対話を大切にし、患者中心の医療の更なる推進にチャレンジします。

- 認定看護管理者
- 母性看護専門看護師
- 緩和ケア認定看護師
- がん看護専門看護師
- 感染管理認定看護師
- 慢性疾患看護専門看護師
- がん薬物療法看護認定看護師

がん看護専門看護師



**患者さんの生活や
思いを尊重した支援**

入院中のがん患者さんの心身のサポートを行なながら、日々の困りごとに合わせた支援が継続して行なえるよう、他の専門・認定看護師と協働しながら院内のがん看護の質向上に努めています。また、リンパ浮腫外来を担当し、浮腫と付き合いながら日常生活を送る患者さんのサポートを続けています。

特定看護師



**多職種が
チームとなり連携**

特定看護師として、カニューレ交換に関わっています。患者さんの快適さを追求し、苦痛を軽減することにやりがいを感じながら、日々の業務に取り組んでいます。病院内とは異なり、限られた資源や設備、時間の中で多職種と協働しながら自身の知識や経験をフル活用し、患者さんにとってより良い医療・看護の提供ができるよう日々活動しています。

フライターナース



**シームレスな
救急医療・看護を提供**

ドクターヘリでは医師だけでなく、救急隊や消防隊他多くの職種とともに病院外での活動を行なっています。病院内とは異なり、限られた資源や設備、時間の中で多職種と協働しながら自身の知識や経験をフル活用し、患者さんにとってより良い医療・看護の提供ができるよう日々活動しています。

ジェネラリスト



**患者さん、ご家族と
信頼関係を築いて
より良い看護を**

看護師としての知識や技術を深め、専門性をより高めながら実践につなげています。患者さんやご家族に寄り添い、信頼関係を築き、多職種と連携しながら栄養状態の回復に導けるよう活動しています。院内のNSTとしては看護師の目線で患者様の情報を集め、ミーティングや回診に参加し、栄養状態が回復できるよう活動しています。

**栄養サポートチーム
専門療法士**



**看護師の視点で
チーム医療に参画**

NST専門療法士として病棟では、患者様の食事摂取状況や検査結果から栄養不良の兆候を見つけて、嗜好を考慮し多職種で連携しながら栄養状態の回復に導けるよう活動しています。院内のNSTとしては看護師の目線で患者様の情報を集め、ミーティングや回診に参加し、栄養状態が回復できるよう活動しています。

キャリア開発システム

新潟大学医歯学総合病院では、みなさんが安心して成長できるよう、独自のキャリア開発システム「RICCA」を運用しています。



看護師には、人として、専門職として、自己実現をめざし、人間性豊かな看護師として成長することが求められます。キャリア開発システム(RICCA)は、「患者ひとりひとりを尊重し、心をこめて、質の高い看護を提供する」という看護部理念に基づき、キャリア開発支援研修をはじめ、体験事例の肯定的フィードバック、目標管理の活用など、日常業務の中で看護職員が生き生きと主体的に看護実践能力の向上を図ることを支援します。

キャリア開発ラダーの基本構成	レベルI	レベルII	レベルIII	レベルIV	レベルV
定義	看護の核となる実践能力	● 基本的な看護手順に従い、必要に応じ助言を得て看護を実践する	● 標準的な看護計画に基づいて、自立して看護を実践する	● ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	● 幅広い視野で予測的判断をもち、看護を実践する
	組織的役割遂行能力	● 社会人・組織人としての役割を理解し、助言を受けながら、チーム内で任された役割を果たす	● 組織の一員として役割を理解し、部署の目標達成に向けて、任せられた役割を果たす	● 所属する職場で、組織的役割を遂行できる ● 部署では、看護チーム全体の状況を捉えて、チームリーダーやコーディネーターの役割、係リーダーの役割を果たす	● 所属を超え、看護部、病院から求められる役割を遂行する ● 看護単位の課題に対し、具体的な解決を図れる
	自己教育・研究能力	● 助言により自己の課題に気づき、自主的な学習に取り組む	● 自己の課題を明確化し、達成に向けた学習活動を展開するとともに、助言を受けながら新人看護師や看護学生に対し、個別性に合わせた指導を行う	● 自己の学習活動に積極的に取り組むとともに、経験の浅い看護師や看護学生に対し、個別性に合わせた指導を行う	● 自己のキャリア開発に関する目指す方向に主体的に自己教育活動を取り組み、後輩のロールモデルとなることができる
レベル達成後の役割・待遇	● 1年目センター(看護師経験1年以上の者)	● 2年目センター(看護師経験2年以上の者)	● 臨地実習指導者 ● エルダー ● チームリーダー	● 副看護師長候補(看護師経験5年以上の者) ● リソースナース ● 教育担当者 ● 看護部委員会メンバー ● 病院医療チームメンバー ● 資格認定や修了証につながる研修受講(特定行為研修、臨地実習指導者養成研修や各種コーディネーター養成研修、栄養サポートチーム専門療養士等)等	● 看護管理研修受講 ● 認定看護師教育課程受講等

専門領域・テーマ別研修

院内認定看護師養成コース

- 感染管理
- スキンケア

テーマ別選択研修

- 糖尿病ケア
- がん看護
- 呼吸ケア
- 感染管理
- スキンケア
- 創傷管理

ラダー別研修

【看護の核となる実践力】

- 倫理研修II・III
- 医療安全管理III
- 容態変化対応コースII・III
- コミュニケーションV・VI

【組織的役割遂行能力】

- 課題解決実践
- 組織管理

【自己教育・研究能力】

- ケースレポートII
- キャリアデザイン
- 学習会企画と運営

大学院進学(修士・博士課程)

基礎研修

【看護の核となる実践力】

- 看護過程I～III
- コミュニケーションI～IV
- 倫理研修I
- 医療安全管理I・II
- 感染管理I・II
- 褥瘡ケアI・II
- 口腔ケア
- 接遇
- 臨床技術トレーニングプログラム
- 静脈注射
- 容態変化対応コースI

【組織的役割遂行能力】

- 病院組織と看護部

【自己教育・研究能力】

- セルフモニタリングプログラム
- ケースレポートI
- キャリアデザイン



看護の核となる実践能力 ▼ チーム連携力／教える力／創造し改善する力
組織的役割能力 ▼ ニーズをどうえる力／ケアする力／協働する力／意思決定を支える力
自己教育・研究能力

Category2

教育支援

年間計画・教育体制

採用から2年をかけて、独自の基礎研修プログラムでみなさんの成長を支援します。
教育担当スタッフやパートナーシップ体制も充実しており、みなさんが迷うことの無いよう、
サポートを行っています。

1 年目



Category2 教育支援

教育環境

新潟大学医歯学総合病院では、みなさんの成長をしっかりとサポートし、夢を実現させるための、充実した教育環境が整っています。



充実した教育環境が整っています トレーニングセンター

新潟医療人育成センター内の「シミュレーション室」では、本院の看護職員だけでなく施設外の施設内にもトレーニングルームがあり、スタッフが個別に指導を行っています。さらに部署の学習会用しています。



e-learningの活用

e-learningで最新の知識を学ぶことができます。また、看護基準・手順も確認できます。電子カルテで閲覧が可能です。休憩室、看護部図書室で、いつでも利用することができます。



Category2

教育支援

生の声を
お届けします！

先輩 Real Voice

Real Voice
01

東5階病棟

▶ 新潟県立看護大学卒業



Real Voice
02

東11階病棟

▶ 新潟大学卒業



Real Voice
03

東4階病棟

▶ 新潟青陵大学卒業



Real Voice
04

高次救命災害治療センター

▶ 日本赤十字看護大学卒業



Real Voice
05

東8階病棟

▶ 新潟県立十日町看護専門学校



Real Voice
06

職場替え

▶ Uターン



Category3

働きやすい 環境

ワークライフバランス

より良い仕事を行うためには、私生活との調和が大切です。

新潟大学医歯学総合病院では、さまざまな境遇のスタッフが充実した毎日を送っており、働きやすい環境が整っています。



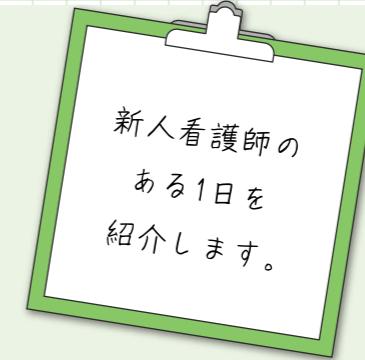
01

パートナーである先輩と
点滴のダブルチェック



02

パートナーに心電図について質問中



03



同期とコミュニケーションの研修

\パパ・ママ/ 看護管理者

私たち夫婦は、夫は集中治療部でフライトナースとして、妻は看護職キャリア開発コアセンターで勤務しています。お互いの仕事を尊重し、仕事での苦労や喜びを理解し合うことが良い刺激になっています。仕事と家庭の両立は試行錯誤の連続ですが、忙しさの中でも子育て、家事を楽しみながら日々を送っています。



大学院生

精神医療に携わる中で根拠に基づいた看護実践の必要性を感じ、研究実践能力を身につけたいと考え、働きながら大学院に通っています。職場のみなさんの支援を受けながら仕事と学業の両立が出来、想像以上の学びと充実した時間を過ごすことができています。この経験を活かし質の高い療養支援を目指して取り組んでいます。



ワークライフバランスの取り組みとして、勤務帯によりユニフォームの色を変えました。ユニフォームの色を変えることで、勤務時間帯を意識した働き方を目指しています。



夜勤者
ユニフォーム

POINT!
仕事と学業を
両立！



OFF